

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

| | | | | | |
|----------------|--|---------------------------------------|------------------|-------|-------------|
| 専門分野区分 | ヒューマンスキル | 科目名 | ゼミナールIV | 科目コード | TL004A1 |
| 配当期 | 前期・後期・ <u>通年</u> | 授業実施形態 | <u>通常</u> ・集中 | 単位数 | <u>2</u> 単位 |
| 担当教員名 | 谷川 武史 | 履修グループ | <u>4A(SI/SN)</u> | 授業方法 | 講義 |
| 実務経験の内容 | 大学の情報システム部門に4年間勤務。汎用コンピュータを用いた学内情報システム開発等に従事してきた。これらの実務経験をもとにして、IT業界の社会人に必要とされる自己表現能力、コミュニケーション能力、文章作成能力等を活かした実践的な行動力について演習を交えて講義する。 | | | | |
| 学習一般目標 | 高等教育機関で学ぶ者は幅広い視野を持ち、人生の基盤となる思想を培うことがもめられる。そのために友人を含めた人との交流から学ぶ力、新しい課題に挑む力、計画的に目標を達成する力が必要である。これらの力を身に付けるための科目がゼミナールである。具体的なワークとしては、これまでの振り返りと4年次における目標設定を行う。そして高いレベルの学習スキルを身に付ける。卒業学年であることを意識し社会人として求められるマナーや職業意識を身に付けることを目標とする。 | | | | |
| 授業の概要および学習上の助言 | 社会人となっても学習は続く。学生時代にスタディスキルを身に付けて生涯学習を意識した生活をする。また社会人に求められる一般常識やコミュニケーション能力を養成する。他者を理解し多様性を認められる態度を醸成することが肝要である。 | | | | |
| 教科書および参考書 | その他トピックに関連する資料を使用する。 | | | | |
| 履修に必要な予備知識や技能 | なし | | | | |
| 使用機器 | 必要に応じてパソコンを使用する。 | | | | |
| 使用ソフト | | | | | |
| 学習到達目標 | 学部DP(番号表記) | 学生が達成すべき行動目標 | | | |
| | 1, 2, 3 | 多様性についての理解を前提として他者とコミュニケーションをとることができる | | | |
| | 2, 3, 4 | 自分の考えを言葉で表現できる | | | |
| | 2, 3, 4 | 自分の考えを文章で表現できる | | | |
| | 2, 3, 5 | 目標とする社会人像を説明できる | | | |
| | 2, 5 | 社会と個人との関りについて自分の考えを表現できる | | | |

| 達成度評価 | 評価方法 | 試験 | クイズ 小テスト | レポート | 成果発表 (口頭・実技) | 作品 | ポート フォリオ | その他 | 合計 | |
|-------|-----------------|--|-------------|------|-----------------|----|-------------|-----|----|-----|
| | 総合評価割合 | | | 10 | 30 | 30 | | | 30 | 100 |
| | 学部 D P | 1.知識・理解 | | 10 | 20 | | | | | 30 |
| | | 2.思考・判断 | | | | 10 | | | 10 | 20 |
| | | 3.態度 | | | 10 | 10 | | | | 20 |
| | | 4.技能・表現 | | | | 10 | | | | 10 |
| | | 5.関心・意欲 | | | | | | | 20 | 20 |
| 評価の要点 | 評価方法 | 評価の実施方法と注意点 | | | | | | | | |
| | 試験 | | | | | | | | | |
| | クイズ 小テスト | 一般常識問題など就職試験で出題されることの多い各分野について小テストを実施する。 | | | | | | | | |
| | レポート | 振り返り作文 目標設定作文 | | | | | | | | |
| | 成果発表 (口頭・実技) | 個人ワーク、グループワーク。 | | | | | | | | |
| | 作品 | | | | | | | | | |
| | ポートフォリオ | | | | | | | | | |
| | その他 | 出席。受講態度。積極性。 | | | | | | | | |

授業明細表（前期）

| 回数 日付 | 学習内容 | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) |
|-----------|--|------------|-------------|
| 第1週 / | アイスブレイク。 科目のオリエンテーション。 教養科目についての説明。 | 講義・ワーク | |
| 第2週 / | 1年間の目標設定作文。単位取得状況の確認とそれに応じた学習の進め方の検討。個人面談。 | 講義・実習・面談 | |
| 第3週 / | ホームルーム。就職活動状況の確認。個人面談。就職試験対策。 | 講義・面談・小テスト | |
| 第4週 / | ホームルーム。就職活動状況の確認。個人面談。就職試験対策。 | 講義・面談・小テスト | |
| 第5週 / | ホームルーム。就職活動状況の確認。個人面談。就職試験対策。 | 講義・面談・小テスト | |
| 第6週 / | ホームルーム。就職活動状況の確認。個人面談。就職試験対策。 | 講義・面談・小テスト | |
| 第7週 / | ホームルーム。前期中間段階での就職状況確認。未内定者の今後の活動方針について相談。個人面談。 | 面談・面談 | |
| 第8週 / | ホームルーム。未内定者の今後の活動方針について相談。個人面談。前期科目学習状況チェック。 | 講義・面談 | |
| 第9週 / | ホームルーム。未内定者の今後の活動方針について相談。個人面談。前期科目学習状況チェック。 | 講義・面談 | |
| 第10週 / | ホームルーム。未内定者の今後の活動方針について相談。個人面談。 | 講義・面談 | |
| 第11週 / | ホームルーム。未内定者の今後の活動方針について相談。個人面談。後期卒業研究Ⅱについての説明。 | テスト・講義 | |
| 第12週 / | ホームルーム。個人面談。後期卒業研究Ⅱのチーム決めとテーマの相談。 | テスト・講義・ワーク | |
| 第13週 / | ホームルーム。個人面談。後期卒業研究Ⅱのチーム決めとテーマの相談。 | テスト・講義・ワーク | |
| 第14週 / | ホームルーム。個人面談。後期卒業研究Ⅱのチームとテーマの決定。 | テスト・講義・ワーク | |

授業明細表（後期）

| 回数 日付 | 学習内容 | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) |
|-----------|---|--------------|-------------|
| 第1週 / | イントロダクション。ホームルーム。 前期の状況確認（成績・就職）と後 期の予定について説明。 | 講義・ワ ーク | |
| 第2週 / | ホームルーム。未内定者の今後の活 動方針について相談。個人面談。 校外行事の案内とチーム決め。 | 講義・面 談 | |
| 第3週 / | ホームルーム。未内定者の今後の活動方針に ついて相談。個人面談。 | 講義・面談 | |
| 第4週 / | ホームルーム。未内定者の今後の活 動方針について相談。個人面談。 | 講義・面 談 | |
| 第5週 / | ホームルーム。未内定者の今後の活 動方針について相談。個人面談。 | 講義・面 談 | |
| 第6週 / | ホームルーム。未内定者の今後の活 動方針について相談。個人面談。 卒業研究Ⅱの中間状況確認。 | 講義・面 談・発表 | |
| 第7週 / | ホームルーム。未内定者の今後の活 動方針について相談。個人面談。 | 講義・面 談 | |
| 第8週 / | ホームルーム。個別指導。 | 講義・面 談 | |
| 第9週 / | ホームルーム。個別指導。 | 講義・面 談 | |
| 第10週 / | ホームルーム。個別指導。 | 講義・面 談 | |
| 第11週 / | ホームルーム。個別指導。 | 講義・面 談 | |
| 第12週 / | ホームルーム。個別指導。 | 講義・面 談 | |
| 第13週 / | ホームルーム。個別指導。 卒業までの予定案内。 | 講義・面 談 | |
| 第14週 / | ホームルーム。1年間の振り返り。 卒業後の活動予定確認。 | 講義・ワ ーク | |